

# 令和4年度 岩手県立水沢高等学校経営計画

校長：菅野 誠二

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒 ・学力の向上・生活、行事の充実・部活動の充実・進路目標の達成	保護者 ・授業満足度と学力向上・きめ細かな進路指導・生徒指導・学校情報の発信	地域住民 ・地元のセンター校・進学実績の向上・地域人材の育成・活力と魅力ある学校	地元中学校 ・教科指導の充実・部活動の充実・進学実績の向上	
	(2) パートナーとの関係	児童生徒 ・自主自律の取組・部、生徒会、有志による学校活性化	保護者 ・教育活動への協力・PTA活動への参加・学校情報の提供	地域住民 ・教育活動への協力	地元中学校 ・中高連携の強化	
	(3) 学校に影響を与える変化	・少子化による生徒数減少・ICT化の推進・国による高大接続改革(大学入試改革)の今後の展開、新学習指導要領の始まり・普通科改革の動向				
2 校訓・教育目標		真善美を常に求め、自主自律の精神と創造建設の気魄に満ち、友愛と信義を重んずる心身ともに豊かでたくましい人間の形成を図る。*生徒会 motto-「友愛・清新・気魄」*水高精神「伝統に培われた自由と創造の澁刺たる気風」				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標		
		ア 教育目標に向けて、「生徒会 motto-」と「水高精神」のもと、生徒が澁刺と学校生活を送り成長する学校		・本校に入学して良かったと答える生徒・保護者の割合【80%】		
		イ 旺盛な探究心により自ら学問を切り拓き、培った知識・技能を活用し、将来展望を確立する学校		・普通科「探究」や理数科「課題研究」とおして主体性が伸びたと答える生徒の割合【80%】		
		ウ 自律的に時間を管理しながら文武両道に励み、諸活動に対しても自主自律の精神で協力して取り組み、自他を尊重する品位ある人間を育成する学校		・部活動に積極的に取り組んでいる生徒の割合【80%】		
		エ 多様な価値観や生き方を認め、主体的な判断のもとに行動できる人間を育成する学校		・生徒の意見や考えが学校の行事など教育活動に反映されていると答える生徒の割合【80%】		
		オ 友愛と信義を重んじた絆づくりを推進し、いじめの防止のため、学校いじめ対策組織がきめ細かく機能する学校		・いじめ対策がしっかりとされ、学校生活が充実していると答える生徒の割合【80%】		
	(2) 取組方針	ア 教育目標に向けて、「生徒会 motto-」と「水高精神」のもと、生徒が澁刺と学校生活を送り成長する学校 (7) PTA・同窓会・地域と連携し、関係者総がかりで生徒を育てる「チーム水高」体制の構築を図る。 (4) 健やかな心身を育む健康教育と安全指導を充実させセルフマネジメント能力を高めるとともに、SDGs等社会づくりへの理解も深める。				
		イ 旺盛な探究心により自ら学問を切り拓き、培った知識・技能を活用し、将来展望を確立する学校 (7) 主体的・対話的で深い学びにより、生徒が描く将来像に即した進路目標の達成に注力する。 (4) 普通科の「探究」や理数科の「課題研究」とおして、自ら学問を切り拓き、主体的な学びを確立する。 (4) 「いわて学びの改革研究事業」の推進により、ICTを活用した学びの深化に取り組む。				
		ウ 自律的に時間を管理しながら文武両道に励み、諸活動に対しても自主自律の精神で協力して取り組み、自他を尊重する品位ある人間を育成する学校 (7) 自主的・自発的な部活動参加を通じ、技術向上を図るとともに規範意識の醸成や挨拶の励行等品位を磨き、自己有用感を高める。 (4) 運動会や飛龍祭、応援団等の諸活動とおして、自主運営によるリーダーシップと協調性を育む。				
		エ 多様な価値観や生き方を認め、主体的な判断のもとに行動できる人間を育成する学校 (7) 読書推進や文化・芸術活動の体験、奉仕活動の実践等により、幅広い教養と豊かな情操を培う。 (4) 「いわての復興教育」の教育的価値を踏まえ、互助精神をいかし自他の生命を守る人を育てる。				
オ 友愛と信義を重んじた絆づくりを推進し、いじめの防止のため、学校いじめ対策組織がきめ細かく機能する学校 (7) 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止に注力する。 (4) 日常の声かけや面談に加え、諸調査の分析結果や SC の活用により生徒理解に努め、相談体制の確立に努める。						